

VICON テクニカル・ヒント (2)

旧ポリゴンのビューワーファイルを POLYGON4 で読み込む方法

江原 義弘¹

¹新潟医療福祉大学

1. はじめに

Polygon4 以前のバージョンで作成したビューワーファイルは Windows10 で起動すると、CG 画面が単一色になり画像も極めて荒くなるので残念ながら実用できなくなりました (図1)。これを実用するには、現時点では、Polygon4 で読み込んで、ビューワーファイルをエクスポートするしかないようです。その方法を以下に示します。

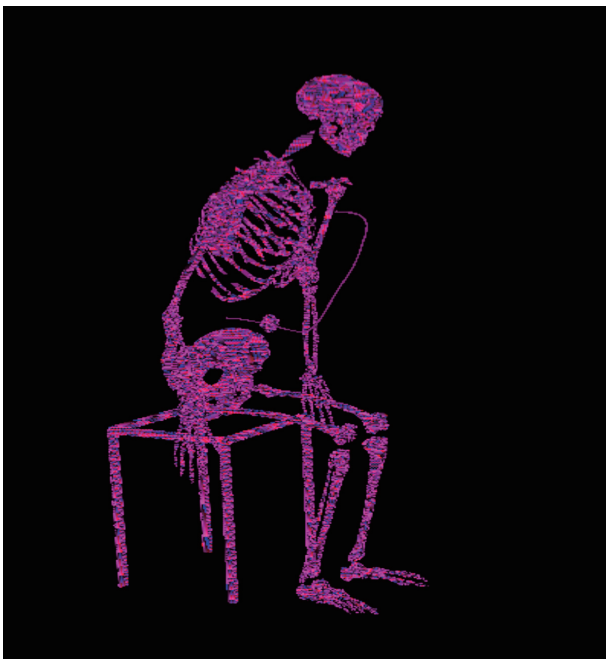


図1 旧ポリゴン画像

2. 第1ステップ (読み込み)

もし、ビューワーを作成する前のソースのフォルダー (つまり、旧バージョンの Polygon オーサリングツールで読み込める形のフォルダー) が残っているのでしたら、これをそのまま Polygon4 で読み込み

ます。もし、ビューワーのフォルダーのみしか残っていない場合は；

*そのフォルダーをCドライブの直下にコピー・ペーストしてください。コピー・ペーストする理由は失敗してもやり直せるようにするためです。またCドライブの直下に置くのは、それが一番成功の可能性が高いからです。

*そのフォルダーの中に .dat ファイルと .prf ファイル、.rtf ファイルがあるはずですが、それらのファイルは同じファイル名のはずです。

*先ほどのフォルダー名を .dat ファイルと同じ名前にしてください。 .dat ファイル名が漢字でないと良いのですが、漢字だと失敗する心配があります。半角の () もファイル名に使ってはいけません。先ほどのフォルダー名と、.dat, .prf, .rtf の名前を同一にしてください。

*このようにしたフォルダーは Polygon4 で読み込めるはずですが。

3. 第2ステップ (動作確認)

動作するはずなので、動作確認をしてください (図2)。CG 画像へのハイパーリンクはうまく呼べるはずですが、テキストペインからテキストペインへのハイパーリンクは動作しない心配があります。その場合はハイパーリンクを貼りなおしてください。プレゼンテーションモードはうまく動作しない心配があります。その場合は始めからプレゼンテーションモードを設定し直したほうが早いでしょう。これらのリンク貼りなおし、プレゼンテーションモードの設定のし直しの作業中は途中でも頻繁に「保存」

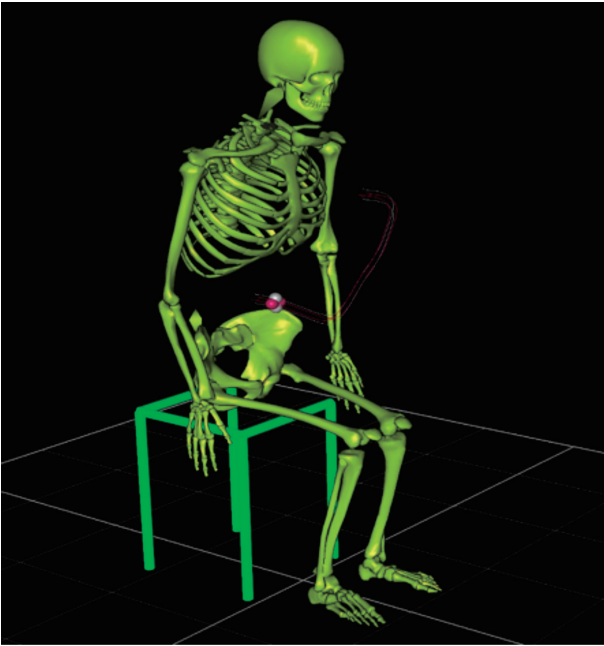


図1 POLYGON4画面

をしたほうが良いでしょう。不測のハングアップにも被害を少なくするためです。

4. 第3ステップ（ビューワーのエクスポート）

ビューワーをエクスポートして、動作確認してください。ソースで動作しても、ビューワーで正常動作するとは限りません。CG画面が単一色になり、画像も極めて荒いままであれば、PCの性能が低すぎるのかも知れません。

テキストペインへのハイパーリンクが動作しないのであれば、リンク先のファイルが探せないのでしょう。何らかの原因でファイルのパスが絶対パスのようなものになっている心配があります。あるいは相対パスが正しく動作していないのかも知れません。そうすると、ビューワーファイルはどうしようもないので、いったんファイルを閉じてください。Polygon4ではエクスポートの際にフォルダー名を指定すると、そのフォルダー名の下に、元のソースフォルダーと同じ名前のフォルダーが自動的に作成され、その中にビューワーファイル群が格納されるようになっています。そこで、それらのビューワーファイル群を、元のソースファ

イル群にコピー・ペーストしてください。このビューワーを起動してください。運がよければ、動作すると思います。ビューワーが正常動作することが確認されたら、そのビューワーのフォルダー名は全角日本語に変更しても動作するはずです。なお、ビューワーだとプレゼンテーションモードの前進・後進のボタンが表示されないようです。

5. 全体的なコメント

*ご自身のPCが、Polygon4の通常動作、Polygon4の通常ビューワーが正常動作する環境かどうかを確認してから、ここに書かれている作業を行ってください。

*起動直後、画面が暗黒になる場合があります。Escボタンを必要なだけ押してください。

*Cドライブの直下でなくても動作できる可能性があります。

*ビューワーのパスの途中に漢字名が含まれていると、正常動作しない心配があります。

*PCによっては（画像ボードによっては）ビューワー内のビデオ画面が真っ黒になる場合があります。

*学会発表などで実使用前にはプロジェクターとの相性も確認ください。